

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム おおくさ

目標達成計画

作成日: 令和3年4月12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	コロナ禍で、現在は面会を禁止しており、利用者様とご家族様の交流の機会がない。また、ご家族様からのご要望やご意見等をお聞きする機会が減っている。オンライン面会も考えているが、ご家族様の中にはオンライン面会の環境が整っていない、機械の操作が不得手である等で難しいとの理由を挙げられ、実現に至っていない。	利用者様、ご家族様ともに情報を得て、面会ができない状況の中でも、お互いが密に近況を知る事ができる。また、ご家族様からのご要望やご意見を聞き出しやすい環境を作る。	今以上にご家族様と連絡を取り合い、利用者様の近況を知って頂く。オンライン面会が叶わないご家族様には、利用者様と電話にて会話して頂く、利用者様にもご家族様に宛て手紙を書いて頂く等で交流の機会を作る。また、運営推進会議の議事録を送付する等、ホームの実情や取り組みについて具体的に知って頂き、話題を広げる事でご家族様からもご要望やご意見を伝えやすい環境にしていく。	12ヶ月
2	35	平成30年度の実施以降、直近での自然災害に対する避難訓練が実施できていない。	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者様が避難できる方法を訓練する事により、全職員が万一の事態に備えて、慌てず確実な避難誘導ができるようになる。	常に行っている消防訓練の際、地震の後に二次災害として火災が発生した場合や、土砂災害を想定した机上訓練や実施訓練も行う。それにより、職員全員が災害時に確実な避難誘導ができるように、日頃から防災意識を高めていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。